

# 患者負担増減あり

【医療サービス】の値段が6月から変わる。医療従事者の賃上げを重視し、初診料や再診料、入院基本料が引き上げられ、患者負担が増える。一方で生活習慣病対策では医療費の抑制を目指し、患者負担が減るケースも。自己負担が3割の場合の主な変更点をまとめた。

## 医療サービス 6月変更

### 【外来】

初診料や再診料の引き上げでは看護師や薬剤師らの賃上げ原資の確保に加え、新型コロナウィルス禍による賃上げが日常化したことも考慮して、患者負担は初診料が91円増、再診料は63円増となる。

### 【入院】

降、医療機関での感染対策が日常化したとも考慮して、患者負担は初診料が91円増、再診料は63円増となる。

### 患者負担の主な変更点

※自己負担3割の場合。厚生労働省による

看護師や薬剤師らの賃上げのため、初診料と再診料を引き上げ

自己 初診料→9~219円増  
負担 再診料→6~36円増

・看護師や管理栄養士など幅広い職種間で連携強化

・効果的な治療や重症化予防の推進

・処方箋料を減額

自己 高血圧で診療所に通院する女性(54)  
負担 が内服薬をもらっているケース  
→1,506円から39円減り1,467円に

40歳未満の勤務医や事務職員らの賃上げのため、入院基本料を引き上げ

自己 「急性期」一般病棟で受け入れられた場合  
負担 →114円増

## 増 一 入院基本料 減 一 生活習慣病の処方箋料

### 【生活習慣病】

高血圧や糖尿病、脂質異常症の患者が増えている状況を踏まえ、効果的な治療

や重症化の予防に向けた取り組みを推進。生活習慣病

対策の報酬を改定し、看護

師や薬剤師、管理栄養士など幅広い職種の間での連携

強化を促す。処方箋料も見直して減額する。

高血圧で診療所に通院している女性(54)が内服薬をもらっているケースでは自己負担が現行の1,506円から39円減って1,467円となる。

### 【入院】

40歳未満の勤務医や事務職員らの賃上げを実現するため、入院基本料が上がる。

緊急性が高いなど「急性期」の患者を一般病棟で受け入れる場合、自己負担は一日当たり114円増える。

物価高騰対策として入院

時の食事代も上がり、1食

当り原則460円が30円

増の490円(全額自己負

担)となる。

## 付き添い入院 負担軽減

### 【生活習慣病】

これまで医療機関が小児病棟などを保育士を配置した際には、保育士の

人数にかかわらず、子ども一人当たり

1日千円以上を加算していた。今回の改定では、保育士を2人以上配置すれば1,800円以上に引き上げる。

安価な後発品(ジェネリック医薬品)が既にあり、特許が切れている先発医薬品は、患者の支払う金額を10月から増やす。特許切れ薬の代金の一部を、公的医療保険の対象から外し、新たな患者負担とする制度を始めたため。後発品の利用を促し、医療費抑制を図る。

公的医療保険では、薬の代金の1~3割が患者負担。新たな制度では、ま

ず特許切れ薬と後発品の差額の25%を

保険外として患者が支払う。さらに、

残る代金の1~3割も負担し、合計の

支払いは増える。

診療報酬の2024年度改定は、子どもが入院する際に親らが泊まり込みで世話をする「付き添い入院」の負担軽減策も盛り込んだ。子どもを見守る保育士や看護補助者を病棟に手厚く配置した場合、病院が受け取れる報酬を増額する。

付き添い入院は病院側が要請するケ

ースが多い。親らは睡眠や休憩がほとんど取れず体調を崩すこともあり、改

善を求める声が出ていた。

## 特許切れ薬 患者の支払い増

### 【外来】

①医師が特許切れ薬の服用が必要と判断②薬局で後発品が在庫切れの場合は新制度が適用されず、支払いは従来通り。